

地域の皆さん、こんにちは。今年の大和こども園は、「やりたいことにチャレンジする子」を目指し、「安心・信頼」「関わりたくなる環境づくり」「自信・達成感の醸成」という3つの視点をもって、保育活動を行い、子ども達を育てています。

朝の登園時、子ども達は、お母さんと離れなければならず、不安になる様子が見られることがあります。特に未満児(0, 1, 2歳児)にこのような姿が見られることがあります。そんな時、保育教諭が、抱かかえたりおんぶしたりすると落ち着きを取り戻します。このような保育者の行為は、単に子どもの情緒を安定させるだけでなく、「意欲」「良好な友達関係を築こうとする心」「共感性」「助け合う心」等の大人になって必要な非認知能力を育てることが最近の研修会で指摘がありました。大和こども園は、ただお子さんをお預かりする施設ではなく、人として生きる礎を育む施設です。これからも、保育することの意義をしっかりと学び、子ども達の成長を支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

園長 池田 巧

🍅 トマトハウス見学で子どもたちはもっと小松トマトが大好きになりました! 🍅

6月はトマト月間で給食でも多くトマトの献立ができました。少しでもトマトに関心をもったり、好きになってほしいと思ひ、6月の中旬に向本折町にある加藤晃一さんのトマトハウスを年中・年長組で見学させていただきました。1時間の中で子どもたちなりの色々な気づきや疑問があり、加藤さんに子どもたちの疑問に答えて頂きました。小松トマトに触れて色んな「不思議」に向き合い、いつも食べていたトマトが更に好きになった子どもたちです。



(ハウスに入ると) 野菜の匂いがする~! トマト大きい!



くさい!

いい匂い★

ひばり組のTくんは、「これがトマトになるんだよ」とみんなに得意げにトマトの花がトマトになることを話していると、加藤さんに「正解!」と言われました。Tくんは、嬉しそうでした。

トマト、上のほうにあるよ。



トマトは茎の下の方から順番に実がなっていくよ。



きゅうりみたいなおいがる。

Q、ハウスの中にはなんで緑のトマトしかないの?

A、毎朝5時半に少し赤くなったトマトを収穫するため無いんだよ。

Q、赤いトマトの種を植えたら成るの?

A、熟した赤いトマト程実になりやすいよ。

他にもこんな質問をJAの方と加藤さんにしました。

- ★トマトは全部丸い形?
- ★トマトはなぜ赤くなるの?
- ★トマトは何をあげたら大きくなるの?
- ★トマトの実や葉っぱは焼いたら美味しいの?

子どもたちの発達を考えて

私たち保育教諭は、子どもたちが夢中で遊び込み、登園が楽しみになるようなワクワクする環境を設定することを心掛けています。そのために、子どもたちが今何に興味があるのか、どのような発達段階なのかをまずじっくり観察します。そして、子どもたちの発達や興味に合っているのか、更に発達を促せるのか、夢中で遊び込めるのかを考え、用意します。また、子どもたちの動線や集中して取り組めるような配置にも配慮していますよ。今回はりす組(8ヶ月~1歳1ヶ月の子どもたちが過ごす保育室)の環境の一部を紹介します。手作り玩具が沢山用意されています。



ハイハイやすり這いで移動が中心な子どもたちのために、玩具は床や壁の低めな位置に設定していますよ。

牛乳パックで作ったBOXは、くぐったり、つかまり立ちや伝い歩きしたりするのに丁度良い高さです。

指先でつまんで引っ張れるようにビーズやペットボトルの紐ゴムをつけてあります。(指先が少しずつ器用に動かせるようになっていきます。)

ウォーターマット、プチプチマットが床に貼ってあり、指や手のひらで触ったり、ハイハイでマットの上を通ったりしています。(感触を味わったり、動くものを目で追う追視を促します)

めくった後ろに動物が隠れています。マジックテープでくっついてるので、貼ったり剥がしたり繰り返して遊べます。(剥がすと動物が出てくるのが面白くて繰り返し剥がして遊んでいます。)

今年度は、保育教諭が子どもにとって良い玩具を作りたいと月1回集まり、話し合いを重ねながら玩具作りを進めています。

コロナ渦での取り組み

前年度は、消毒、換気の徹底、保護者参加型の行事を中止するなどコロナウィルスの感染防止に努めてきました。今年度も消毒、換気を徹底した上で行事を行える方法や対策を協議し、できることから実行しています。

保育参観

例年、保護者に来ていただき、子どもたちと一緒に過ごす保育参加があります。今年度は、感染防止のため子どもと保護者の接触を少しでも減らそうと保育室の外側から子どもたちの様子をこっそり見て頂く保育参観を行いました。給食をどのように食べているのか知りたいという保護者の声から給食の様子を見て頂きました。感染防止のため、人数制限をし、数日に分けて行いました。



「子どもたちの姿を見られることが嬉しい」「園で座ってお利口で食べていてびっくり!」「家での配膳の量に悩んでいたが、園でこんなに多く食べていることに驚いた。量の参考になった」という意見を多く頂きました。

ボランティア活動

保護者会の提案で職員の負担を軽減するため保護者・祖父母を対象にボランティアを募ることになりました。

園内の人が触れるいたるところを拭き掃除してもらっています

普段こんな大変なことを毎日してくれているんだね。大変だね。

子どもたちと一緒に遊んでもらっています



子どもたちがすんなりと私を受け入れてくれ、嬉しいです。子どもたちと遊ぶことでリフレッシュにもなっています。

色々な子どもたちがいて個性があり、一緒に遊んでいて毎回楽しいです。

※ボランティアの方には、感染防止のためPCR検査を事前に受けて頂いております。